

二〇二二年度法科大学院入学試験問題

小論文

注意事項

- I 試験開始の指示があるまで問題用紙を開いてはいけません。
- II 解答用紙は一枚配付します。
- III 解答にあたっては、黒ボールペン・黒インクのペンのいずれかを使用してください（ただし、インクがプラスチック消しゴムで消せないものに限ります）。それ以外で解答用紙に記入した場合は、無効とします。また、解答用紙欄外へ記入されているものは採点の対象としません。
- IV 解答を訂正するときは、訂正部分が数行にわたる場合は斜線で、一行の場合には横線で消して、その次のマス目から書き直してください。（余白には書かないで下さい。）修正液・修正テープを使用してはいけません。
- V 解答は横書きで記入してください。
- VI 試験時間は六〇分です。
- VII 問題は八ページで一問です。

問題 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作物の関係上、本文については、ホームページ上での公開および印刷物でのを行っておりません。

〔橋本健二『新・日本の階級社会』（講談社現代新書、二〇一八年）より〕

〔問〕 筆者が主張する「格差」の拡大がもたらす弊害を踏まえた上で、この「格差」を縮小するために法が果たすことのできる役割について、あなたの考えを八〇〇字以内で説明しなさい。